

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	復活！生坂産「ころ柿」
事業主体 (連絡先)	生坂村 (0263-69-3111)
事業区分	(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,282,310 円 (うち支援金: 986,000 円)

事業内容

犀川の川霧により先人たちが「ころ柿」として作り販売してきた干し柿を、授産施設の独自作業として取り組んでいくための施設整備を行った。

①真空包装機

変質を防ぎ少しでも長く良質な干し柿を出荷するための真空包装機を購入

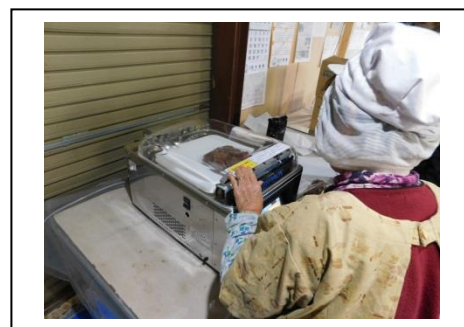
②ラベル印刷

宣伝効果を高め販売促進につながるよう真空包装用袋のラベルを作成

③干し柿講習会

品質の良い干し柿づくりを目指すため、地域の方との技術研修、共同作業の実施

柿採り作業、機械取扱い講習、柿吊るし作業等



【真空包装作業】

【目標・ねらい】

- ①授産施設の仕事の確保と利用者の増
- ②村の特産品であった「ころ柿」の復活と、地域の生産組合との連携による地域資源活用による産業の振興
- ③柿を採取することによる鳥獣被害防止

事業効果

- 1 未収穫の柿を減らすことで、鳥獣被害の防止となる
- 2 授産施設の作業とすることで、施設利用者の就労の場の確保となる
- 3 干し柿づくりに取り組む生産組合との連携により、作業の相互協力ができ生産量の増加となった
- 4 作業連携のみならず、地域とのコミュニケーションが図られるため、授産施設運営への理解が得られた
- 5 授産施設の作業収入が増加した

※自己評価【 B 】

【理由】

本年度は、施設整備と地域（草尾地区）との連携を図ることができ、作業収入の増加につながった。更に干し柿づくりの技術の向上に努めていく必要がある。

今後の取り組み

- ・干し柿づくりは期間が限定されてしまうため、作業員の確保と、その作業員が通年就労できるような仕事の確保を行い、授産施設としての役割を果たしていく
- ・産地となるため柿の栽培も含め、良質な品物を安定的に生産していける技術の習得
- ・衛生管理、作業員の安全管理の徹底